

鳥取医療センターにおける睡眠関連検査と現状

林久美子^{1)*} 大畑いく子¹⁾

1) 国立病院機構鳥取医療センター臨床検査科

Sleep tests and their current situation in Tottori Medical Center

Kumiko Hayashi^{1)*}, Ikuko Ohata¹⁾

1) Department of Clinical Laboratory, National Hospital Organization Tottori Medical Center

*Correspondence: Hayashiku@tottori-iryu.hosp.go.jp

要旨

当院の睡眠治療は精神科から始まり、2005年より日本睡眠学会の学会認定医療機関(A型)¹⁾の認定を受けている。当院の睡眠関連検査と現在の状況を紹介する。鳥取臨床科学 1(1), 7-12, 2008

Abstract

Sleep studies in the Tottori Medical Center was established in the Department of Psychiatry and it has been authorized as a designated institution (type A) by the Japanese Society of Sleep Research since year 2005. This is a report of sleep tests and their current situation in our hospital. *Tottori J. Clin. Res.* 1(1), 7-12, 2008

Key Words: 常時監視ポリソムノグラフィ, 睡眠潜時反復検査, 日中ポリソムノグラフィ, アクチグラフィ, 呼気ガス分析; attended polysomnography (PSG), multiple sleep latency test (MSLT), polysomnography in the daytime (NAP), actigraphy, analysis of expired gas

はじめに

鳥取医療センター(以下、当院)は精神科に睡眠外来を併設し、閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群(obstructive sleep apnea-hypopnea syndrome: 以下 OSAHS)をはじめとして、ナルコレプシー、特発性過眠症、周期性四肢運動障害、むずむず足症候群などさまざまな睡眠障害の診断・治療に精神科の医師が週3回(月・水・金)あたっている。当院は鳥取市の中心市街地のはずれに位置し、神経内科・神経小児科・精神科を主な診療科としているので、来院する患者も一般病院のそれとは異なる。そのような中で、昨年度の睡眠外来患者は7割が他院や企業の健康管理室からの紹介で、1割は院内他科よりの紹介、2割が直接受診であった。

患者のほとんどが一度は簡易もしくはスクリーニングの検査をうけ、診断・治療の難しいケースが当院に紹介されており、当院ではスタンダード PSG である常時監視で検査を行っている。また、OSAHS 以外の睡眠障害に対応すべく、NAP、アクチグラフィ、MSLT などの検査もルーチンで実施している。

当院の睡眠関連検査法

初診時には当院の睡眠外来マニュアル(表1)にそって質問紙(1. 質問表, 2. エプワース眠気尺度, 3. 睡眠日誌)を記入し、胸部レントゲン検査、通常の初診時検査(検尿、検血一般、生化学項目)プラス甲状腺ホルモン(TSH, FT3, FT4)の採